龍野北高校新聞

まちを支える人づくり　スペシャリストへの道

～地域との共生を図り、明るく活力のある学校～

令和５年９月29日（金）発行
第９号
兵庫県立龍野北高等学校
Tel　０７９１－７５－２９００
Fax　０７９１－７５－２２９６

全日制課程

第２３回　高校生ものづくりコンテスト（測量部門）近畿大会（全国大会予選）

近年、若者の製造業離れが進み、ものづくりの技術・技能の継承が危ぶまれている。我が国の持続的発展を維持するためには、産業を支える技術・技能水準の向上を図るとともに、若年技術・技能労働者を確保し、育成することが急務である。

そこで、公益社団法人全国工業高等学校長協会では、各高等学校で取り組んでいる、ものづくりの学習効果の発表の場として、全国の高校生が一堂に会して、技術・技能を競い合う全国的な大会を企画している。

大会の課題は「閉合トラバース測量とその計算」で、外業および内業のそれぞれの採点基準によって採点され、順位を競うものである。

外業では、５角形の閉合トラバース測量に、５角の測定および５点の測角・測距を行う。内業では、外業で測量した野帳をもとに、トラバース計算書を完成させる。

本校では、高校生ものづくりコンテスト（測量部門）出場のため、課題研究という取り組んだ。４月から大会前日まで、「どうすれば上位入賞できるのか」を考えながら、練習、そして、振り返り、結果は出場再検討と活動してきた。しかし、授業を通じて、校練習と大会のグランドコンディション10校のうち７位という成績に終わった。

違い、気温や湿度の違いから、測量の奥深さを体験し、大会の緊張から、練習の成果を存分に発揮できなかったことなど、これから社会に出ていく生徒にとって、深い学びができたと思う。

第２２回　課題研究発表会　コンクリートカヌー競技大会（近畿大会）

８月26日（土）に、兵庫県立円山川公苑で第22回課題研究発表会・コンクリートカヌー競技大会（近畿大会）が行われた。環境建設工学科の６名が参加した。環境建設工学科で学んでいる知識（特にコンクリート・浮力計算）が現実に活用できるのかを作品（コンクリートカヌー）を製作し競技大会に参加し確認することが目的である。コンクリートカヌーを政策する際の工夫したところは、カヌーの強度を保ちながら、自重を軽くすることが課題となり、コンクリート厚を薄くし、引張強度を上げて解決した。

競技会では、浸水するカヌーがある中、本校艇「バルチップ艦隊」は完走したが、惜しくも７位という結果だった。

コンクリートカヌー製作を通して、日頃学んでいる知識や技術が実生活で役に立つことが理解できた。また、難しい課題でも工夫と仲間との協力で成し遂げられることを学んだ。

科学の祭典「まちを水害から『守る』」環境建設工学科の６名が参加

近年の豪雨災害は、河川の整備だけでは対応が困難な兵庫県でのここ数年は、河川の整備や下水道（雨水対策）などに加え、降雨時の校庭やグランドなどを使って一時的に雨水をためる洪水対策を組み合わせるなどの、ハード対策と、ソフト対策を組み合わせたいろいろな被害を軽減するための取り組みが必要である。

豪雨災害の被害を自然災害に依存するのではなく、総合的な防災・減災の仕組みを作り、被害を最小限に抑えるための取り組みが必要である。

普及啓発活動を通じて、水害の仕組みを理解し、自分たちの身を守る対策を考える。

このような科学の模擬実験を通して、ものづくりの楽しさを体験し、大会の緊張から、練習の成果を存分に発揮できなかったことなど、これから社会に出ていく生徒にとって、深い学びができたと思う。

10月の行事予定

4日（水）地域拠点型合同防災訓練
6日（金）全校集会
老年看護実習Ⅰ（N２）
13日～18日（水）中間考査
20日（金）まちづくり科目群説明会（１年）６限
21日（土）西はりまフロンティア祭
22日（日）２級土木施工管理技術検定
24日（火）体育大会予行
25日（水）体育大会
27日（金）まちづくり科目群説明会（２年）６限
第４回龍北祭実行委員会
県立西播磨総合リハビリテーション見学実習（W１）
28日（土）第２回オープンハイスクール
漢字検定
30日（月）生徒代休（オープンハイスクール）
※変更等はHP・はなまる連絡帳等で随時連絡します。

定時制課程

７月14日（金）本校ソフトボールグラウンドにて令和５年度第13回龍北定体育祭が行われた。

今年は暑い中、雨に降られる場面もあったが、無事全プログラムを行うことができた。来賓・保護者の方々も来ていただき、生徒たちの元気な姿を見ていただいた。

エキシビションマッチとして参加型で行われた「玉入れ」においても、生徒たちと共に盛り上げてくださった。

今年度より全校生徒で取り組んだ「ソーラン節」は日ごろの練習の成果を存分に出すことができていた。

学年対抗リレーでは、担任の先生もアンカーとしてレースに参加し、白熱した勝負が繰り広げられた。

総合順位は第１位３年生、第２位４年生、第３位２年生、第４位１年生という結果であった。

今回の体育祭を通して、学年や全校生徒が１つとなるきっかけになったのではないかと思う。

７月20日、ルーセンブルク大公国表彰伝達式、離任式、壮行会、終業式が行われた。

北方面離任式では、校長先生のお話、Ａ先生のロングスピーチ、生徒代表の送辞、思い出の詰まった卒業アルバムの贈呈、全校生徒による合唱、中学生の代表としての活躍する兵庫県の全国大会出場を目指す軟式野球部の壮行会